

<h1>そだて</h1> <p>第275号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL <a href="http://www.city.ojiya.niigata.jp/">http://www.city.ojiya.niigata.jp/</a></p>
---------------------------	---------------------------	--

## 「親の愛情と大人の使命」

小千谷警察署長 岡村 正之

こんな女性の話を伝え聞いたことがあります。

父親が他人の借金の保証人となったが、最終的には逃げられて、借金しか残らず、非常に貧しい生活の中、食べたい物を食べた記憶も、欲しい物を買ってもらった記憶もなかったが、その女性曰く「不幸だと思ったことは1回もなかった」そうです。

中学の時は友達から「あなたの家は本当に何もなくて貧乏だね。でもあなたは本当に心がきれいで、笑顔が幸せそうに見える」と言われ、幸せを感じながら生きていたそうです。父親は騙して逃げた人間の悪口を家族の前で言ったことは1度もなく、また、父が母に「苦勞をかけてすまん」と言うと母は「体だけは大切にしてください。お金はいつかできますから」と励ましていたそうです。女性はこのような両親のお陰で幸せだったのでしょ。そして、その女性が結婚する時、両親は女性と結婚相手（現ご主人）の前に「全財産がここにあるから受け取って欲しい」とボロボロの預金通帳を差し出したそうです。中を見ると数十万円。それを見た現ご主人は号泣したそうです。女性をご主人に泣いている理由を聞くと「1回1回の入金額を見てみるよ」と言われ、最初のページから見ていくと、彼女も涙が溢れたそうです。通帳には1日の入金額が最高でも百数十円、あとは1桁に近い数字がずっと並んでいたそうです。しかも、ほぼ毎日。

どんなに貧しくても、娘のために毎日コツコツと、ほんの少しの額でも貯金をしていた両親の元で、愛情一杯に育った彼女は現在幸せな家庭を築いているそうです。

愛情表現や育て方、家庭の事情は千差万別でも、子を思う親の気持ちは皆同じだと思います。昨年、新潟市西区で帰宅途中の女子児童が殺害され、線路に遺棄される事案が発生しました。また、最近でも川崎市でスクールバスを待っていた小学生が無差別に殺傷されるという痛ましい事件が発生しました。被害者やご両親のことを思うと、本当に心が痛みます。許せません。前述の女性のように、親の溢れんばかりの愛情を受け、心豊かに育っていたにもかかわらず、夢や希望に満ちあふれた人生を突然、理不尽に奪われました。

このような悲惨な事件は決して起こしてはなりません。警察によるパトロールや子どもの見守り活動の他、地域の皆さんやボランティア等による見守り、防犯カメラの設置など、地域全体が「どうしたら幼い命が守れるか、自分たちにできることは何か」を模索し実行していくのが我々大人全員に課せられた使命ではないでしょうか。



## ☆～「愛の一声」～☆

— 青少年補導委員 6月・7月の街頭補導より —

■街頭補導した感想を抜粋して紹介します。

- ネットカフェ、パチンコ店、カードゲームコーナー等、今までほとんど行ったことがない店に入ることができて、とても良い社会勉強になりました。
- 小千谷駅の待合室には七夕が飾ってあり綺麗でした。短冊に色とりどりの文字で、たくさんの願いが書かれていました。電車待ちの高校生が、書こうとしていたので「何書くの？」と聞いたら「それは・・・えへへ」と笑っていました。季節を感じる待合室は優しい雰囲気でした。
- コンビニでは、生徒が電車の時間調整のため利用することが多いけれど、皆整然と利用していて、目立つ行動はないと店主が話していました。
- 雨降りということもあり、歩いている人が少なかった。立ち寄った店の店員に子ども達の様子を聞きましたが、特に気になる様子はないとの事で安心しました。
- 100円ショップでは、子どもが好きそうな商品は、レジ近くに置いて店員の目が行き届くように配慮をしていることに気が付きました。
- 千田地区（小栗田、千谷、三仏生、高梨、五辺の公園、空き地）、その他地区（旭橋の下等）を巡回しました。子どもの姿はなく自宅で遊んでいると思いました。
- 川井の愛染まつりは小雨降る肌寒い天候にかかわらず、大勢の小・中学生がお祭り会場に来ていました。皆、顔なじみの子ども達ばかりで「こんばんは」と子ども達の方から声をかけてくれることが多く、地域の繋がりを強く感じました。
- 東山の闘牛場を巡回しました。イベント会場でもあるので露店があり、中、高生が食べ歩きする姿が若干見られました。声かけをして注意を促しました。

～青少年育成センターより～

子どもが事件、事故に巻き込まれないように家族で話し合い、楽しい夏休みを過ごしましょう。

